

全国私教連養護教職員連絡会 ニュース

2016年4月発行 第3号

新年度の健康診断業務などで大変お忙しい時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

全国私教連に養護教職員連絡会が立ち上がって2年。子どもたちの悲しいニュースが続いています。

子どもたちが安心安全な環境で心身ともに健やかに学び成長できる学校づくりの課題と合わせて、養護教諭の役割と重要性への理解と共感を広げていきたいですね。

また、このたびの九州震災で亡くなられた方のご冥福と被災された方々へ心からお見舞い申し上げます。

現地の学校関係者の方々と養護教諭の方々も大変と思います。今後、私たちもできる限り支援をしていきます。

全国私教連定期大会にて発言しました！

3月19日・20日と東京エデュカスビルにて開かれた大会に養護教職員連絡会を代表して、磯村代表（愛知）が特別代議員、藤井（東京）と若杉（大阪）が都府県の代議員で出席しました。議案にも昨年度の取り組みと次年度の方針が記載され、文科省への要請の資料とニュース2号を配布し発言をしました。

磯村代表 発言要旨

連絡会を立ち上げて、養護教諭の配置状況についてアンケート調査をしました。公立学校では、小学校児童数801人以上中学・高校生徒数801人以上の学校は養護教諭が複数配置となっています。私学では、特に高校で生徒数が多いのにもかかわらず養護教諭が配置されていない学校もあります。配置されていても身分も様々です。公務の会議に出られない、教員と連携できないという実態もあります。各県の私教連では、学校数と養護教諭の配置について、どのように把握されていますか。私たちは、養護教諭を一人ぼっちにしない、つながりたいと思っています。各県の養護教諭を紹介してください。今後ともご支援ご協力をお願いします。

2016年度の活動について相談しました

3月20日定期大会の後で養護教職員連絡会の事務局会議を行いました。

2度に渡る文部科学省との交渉の印象では、文科省が私学における養護教諭配置について調査、配置状況を改善しようという動きにならないとの感想を持ちました。「どうしたら全ての私学に養護教諭を配置できるのだろう」とやりきれません。「国会議員への要請行動をして、国会質問にしてもらおう。」とか、各県で私教連の運動課題にも養護教諭の配置について議論していただくことも必要です。もっと私たちの声を大きくして、運動を作っていないと、なかなか事態は改善しないのだと思うのです。

昨年度、大阪私学の養護教諭は、「私学における特別支援教育と養護教諭の関わり」というテーマでアンケート調査した結果を花巻全私研特別支援教育分科会と日本教育保健学会で発表したところ、「うちの学校にも養護教諭がないのです」「そこまで養護教諭がされているのですか」と私学の教員や大学の研究者の方々から声をかけていただきました。養護教諭の教育実践と必要性を組合の内外問わず様々な場で知らせていくことの大事さも実感しました。つながりを広げ、大きくして、共に頑張っていきましょう！

6月12日(日)全教養護教員部 定期総会 (東京エデュカスビル)

6月13日(月)全教養護教員部 中央要請行動(文部科学省交渉、厚生労働省交渉)

7月30日(土)～8月1日(月)第47回飛騨高山全私研(岐阜県高山温泉)

7月30日(土)夜 養護教諭のつどい

11月13日(日)全教養護教員部全国委員会(東京エデュカスビル)

11月14日(月)全教養護教員部 中央要請行動(文部科学省交渉、議員懇談)

このあたりで養護教諭の全国交流会をしたいのですがいかがですか？